※令和４年度以降入学生用

学校番号	2003

令和８年度　家庭科

教科	家庭科	科目	(学) 保育演習Ａ	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	家庭基礎　自立・共生・創造（東京出版）						
副教材等	2024　最新　生活ハンドブック　資料&成分表　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

乳幼児の誕生から幼児期までの発育・発達についての知識を理解する。それぞれの時期に応じた適切な保育の重要性について学習する。布絵本パズルなどの保育実習を多く取り入れ実践的な能力を育てる。ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力も身につきます。

2　学習の到達目標

保育実習を多く取り入れ実践的な能力を育成することを目指す。
・子どもの発達や特性や発達過程、保育の意義や方法、子どもの発達や生活の特徴や文化、保育などに関する知識と技能を身につけている。
・子どもにとって遊びの意義を、自らの体験に関連させて考えることができ子どもの発達段階に応じたふさわしいものを選択する能力を養う。
・子どもの健やかな発達や子どもを取り巻く課題を発見し支援に寄与する能力と態度、保育を主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する基礎的・基本的な技術と知識を身につけている。子どもと触れあい、子育て支援を行っている人々と交流するなどの学習を通して、子どもの発達の特性や発達過程に対応した技術を身につけるようにする。	子どもを生み育てることや、家族の役割や地域の子育て支援などについて課題を見いだし、思考を深め、保育全般に関わることに対して適切に判断し、創意工夫し、表現する能力を身につける力を養う。	子どもの発達や子育て支援について関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組むとともに、積極的に子どもと関わろうとする意欲と態度を身につける力を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	発達と環境	①生涯発達における乳幼児の重要性 ②乳幼児の発達の特徴、しくみ ③子どもと環境との関わり ④乳幼児の身体発達と運動発達 ⑤親学習	a:人を育てる心を育むとともに、人間の発達とﾗｲﾌｽﾃｰｼﾞ、発達課題・子どもの特徴などを学び保育の需要性を理解しようとしている。 b:発育と発達には個人差があり、乳幼児の生理的特徴、発達の方向性などの基本的な知識を学習し年齢に応じた発達段階があることを理解できるようにする。 c:親学習を通して、自身の将来像を考えようとしている。	小ﾃｽﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ 実習課題	実習課題 実践発表 振り返りレポート
	保育の意義と目標	①保育の目的・目標 ②発達過程に応じた保育 ③子どもが育つ環境の変化 ④保育所・幼稚園実習	a:保育の目的を理解し、保育に関する専門的な知識と技術を実習をとおして習得している。 b:保育環境の現状と問題点を理解している。 c:保育所・幼稚園実習をとおして子どもの発達の特性を生かした児童文化財の製作の工夫、ｸﾞﾙｰﾌﾟ発表ができている。	小ﾃｽﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ 実習課題	実習課題 実践発表 振り返りレポート
	子どもの触れあいから学ぶ	①児童文化財製作と発表 ②子どもの遊び ③保育実習	a:子どもの成長と遊び・道具の変化を理解している。 b:児童文化財の製作が工夫できている。 c:児童文化財を使用した実践発表ができている。	小ﾃｽﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ 実習課題	実習課題 実践発表 振り返りレポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度